

令和 3 年 6 月 28 日

朝来市長 藤岡 勇 様

朝来市総合計画審議会
会長 草郷 孝好

第 3 次朝来市総合計画について（答申）

令和 2 年 12 月 16 日付諮問第 10 号において、第 3 次朝来市総合計画について諮問を受け、市民視点及び専門的見地から審議会において慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり答申します。

市長におかれましては、この答申を十分に尊重して総合計画を策定されるとともに、計画の推進に当たっては、下記のことを十分に留意されることを要望します。

記

1 将来像の実現に向けて

計画の推進に当たっては、常に、将来像「人と人がつながり 幸せが循環するまち」に結びついているかを意識するとともに、とりわけ、「人と人のつながり」「人と社会とのつながり」を大切にしながら進めていただきたい。

2 計画の推進に当たっての大切な視点

- (1) 一人ひとりの自分らしい暮らしや生き方を認め合いながら育まれる市民の主体的な活動は、朝来市のまちづくりの原動力、まちの活力、地域における支え合い等になっています。これらの市民の力や地域の力は、朝来市のまちづくりの推進力であり、大きな強みです。これからも引き続き、市民が主役の市民自治のまちづくりを積極的に進めていただきたい。
- (2) 市民ニーズが多様化する中、まちづくりを進めていく過程において、市民と情報を共有し、対話によって、市民のさまざまな意見を把握するとともに、市民の共感を得る等、市民と行政のコミュニケーションを大切にしながら、協働のまちづくりを進めていただきたい。
- (3) 2030 アジェンダ（SDGs）の掲げる「誰一人取り残さない持続可能な社会の構築」を見据え、地域経済の発展、環境の保全、誰もが認められる社会の実現を目指し、総合的視点に立ってまちづくりを進めていただきたい。